

図書の窓から

浜田高校図書館
H28.10.28発行
28-7号



急に肌寒くなり、秋めいてきました。秋といえば「スポーツの秋」「芸術の秋」「食欲の秋」など、いろいろ思いつくものがありますが…秋と言えばやっぱり「読書の秋」でしょ！ということで、今号は“読書”をテーマにお送りします。



読書の秋 ～秋の夜長にこんな本はいかが？～

「本」をテーマにした本はノンフィクションから小説までたくさんあります。今回はその中から3冊を選んで紹介します。



『おさがしの本は』 門井慶喜/著 光文社

市立図書館でのレファレンスサービスのお話です。レファレンスサービスとは、図書館員が本やインターネット上の情報を使って、図書館に来た人の調べもののお手伝いをするサービスです。膨大な情報源の中から求める情報を見つけ出すのは、実は結構大変なこと。そう、司書とは図書館で働くある種の探偵業なのです…。



『本にだって雄と雌があります』 小田雅久仁/著 新潮文庫

あまり知られていないことですが、本にも雄と雌があるそうです。結婚もするし、子ども（※もちろん本）も産むそうです。…主人公の博が子どもの頃、不用意に隣同士に並べてしまった本の間には、謎の本が生まれました。大人になった博は亡くなった祖父の日記を見つけ、本に振り回された自分の一族の数奇な運命を知ること…。



『痕跡本のすすめ』 古沢和宏/著 太田出版

痕跡本とは、間に挟まっている菜や書き込みの跡など、前の持ち主による何らかの形跡が残っている本のこと。著者の古沢さんは古書店の店主であると同時に、痕跡本コレクターでもあります。本に残された痕跡から、前の持ち主の人生が垣間見えたり、見えなかったり…。いえ、見えなくても楽しいものですよ。

『おさがしの本は』には、本が好きなのではないけれど本を探る必要に迫られて図書館に駆け込む人が登場します。『本にだって～』の登場人物は、基本的に本好き。そして『痕跡本のすすめ』の著者は本の中身よりも痕跡を探ることが好き（もちろん、本の中身も好きだと思います!）。本の楽しみ方は人それぞれ。今は本が好きではない人も、いつの日か好きになってくれると嬉しいです。

読書感想画コンクール 課題図書

読書感想画コンクールの課題図書がそろいました。

課題図書とコンクールの要綱は、美術室においてあります。美術部員・美術選択者以外でコンクールに興味がある人は、石金先生にお問い合わせください。

※読書感想画は、本を読んだ感想を絵で表現するものです。

ここに挙げた本はコンクールの課題図書ですが、もちろんこれ以外の本で感想画を描いてもかまいません。

※数字は本の背ラベルにある分類番号です。

383 『すしのひみつ』 日比野光敏/著、金の星社

お寿司の歴史は古く、1200年以上昔にさかのぼるそうです。ただしお寿司の祖先は、現在の握り寿司とはまったく違う形をしていたんだとか。なぜ日本人はお寿司を改良し続けたのか、その秘密に迫ります。

526 『誰も知らない東京スカイツリー』 根岸豊明/著、ポプラ社

東京スカイツリーを建設したのは東武鉄道ですが、建設担当に決まるまで、そして決まってからも、さまざまな障壁がありました。選ばれてからテレビ塔としての活用が始まるまでの10年間の記録を綴ります。

913 『車夫』 いたうみく/作、小峰書店

スカイツリーを仰ぎ見る町・浅草で人力車をひく少年と、周囲の人たちとのふれあいを描いた連作短編集。

913 『白をつなぐ』 まはら三桃/著、小学館

つなぐ「白」はタスキの色。都道府県対抗駅伝に出場する中学生・高校生・大学生・社会人、世代の違う選手たちが、それぞれの思いを抱きながらタスキをつなぐ。

933 『戦火の三匹』 ミーガン・リクス/作、徳間書店

第二次世界大戦開戦初期のイギリスで、子どもたちは疎開し、ペットたちはロンドンに残された。犬と猫、あわせて3匹でロンドンからの脱出を目指す物語。

上半期(4月～9月)貸出ランキング

1	『文豪ストレイドッグス』シリーズ (朝霧カフカ/著)	3	『世界史 古代～近代へ 大学受験らくらくブック(新マンガゼミナール)』 (斎藤整/監修)
2	学年ビリのギャルが1年で偏差値を40上げて慶應大学に現役合格した話 (坪田信貴/著)		『ダメ親と呼ばれても学年ビリの3人の子を信じてどん底家族を再生させた母の話』 (ああちゃん/著)
	タスキメシ (額賀滯/著)		『羊と鋼の森』 (宮下奈都/著)
	ポイズンドーター・ホーリーマザー (湊かなえ)		『君の臍臓を食べたい』 (住野よる/著)
3	豆の上で眠る (湊かなえ)		『自殺予定日』 (秋吉理香子/著)

湊かなえさんの作品と『君の臍臓を食べたい』『ビリギャル』は根強い人気を誇っていますね。また、「新マンガゼミナール」シリーズなど、勉強の支えになるマンガシリーズは3年生にたくさん借りられています。前号の「図書窓」の“読書メモリー”欄で紹介した『羊と鋼の森』は、ここ1か月ほどブーム再燃の兆しが。読んだ人からは「心が洗われる」「本当にいい本だった」と絶賛コメントをいただいています！ミステリー界では、上半期に新しく図書館に入った『自殺予定日』の人气が急上昇。同じ著者の『暗黒女子』は映画化されるようです。気になった人はぜひチェックを！



【進路・小論文対策】

024『書店・図書館で働く人たち』戸田恭子/著

070『記者・ライターの「お仕事」と「正体」がよ〜くわかる本』

498『あなたにもできる!医療事務のおしごと超入門』水口錠二/著

498『クリニック・薬局で働く人たち』橋口佐紀子/著

645『ドッグトレーナー・犬の訓練士になるには』井上こみち/著

816『小論文これだけ! 教育超基礎編』樋口裕一/著

【読書・百科】

019『ピブリオバトル実践集』須藤秀紹/編

★好きな本についてプレゼンする書評合戦”ピブリオバトル”の、学校における実践集。

【郷土資料】

☞092『石見の国読本』中島淑夫/編
★古代から近・現代まで、石見地域の歴史をまとめた1冊。

096.8『ローカル鉄道という希望』田中輝美/著

★著者の田中さんは浜高の卒業生です。(※本の内容は島根県とは関係ありません。)

【哲学】

130『はじめての哲学』石井郁男/著

★プラトンやデカルトなど、14人の著名な哲学者とその思想を学べる入門書。

【歴史】

209『戦争とは何だろうか』西谷修/著

★世界各地でおこる戦争について、歴史をさかのぼって考える。

☞210.3『平安大事典 図解でわかる「源氏物語」の世界』倉田実/編

★平安時代の建築物、服飾、生活道具、宗教ナドナド、写真や絵巻とともに解説。

210.6『マンガでわかる日本の近現代史』河合敦/監修

★これで日本の近現代史のおおまかな流れを理解しましょう。

【地理】

月290『東大のクールな地理』伊藤彰芳/著

★東大の入試問題から世界と日本を学ぶ本。

☞291『英語で発信する日本小事典』IBCパブリッシング/編

★日本の地理・歴史・文化から身近な話題まで、日英対訳で紹介。

【社会】

☞316『ヘイトスピーチ 表現の自由はどこまで認められるか』エリック・ブライシュ/著

★人を傷つける発言は「表現の自由」として認められるのか。世界のヘイトスピーチの実情と解決策を探る。

319『オバマ大統領がヒロシマを訪れた日』広島テレビ放送/編

★今年5月にオバマ大統領が広島で行ったスピーチを収録。DVDつき。

327『母さんごめん、もう無理だ きょうも傍聴席にいます』

★事件の数だけ背景があり、誰かの人生がある。記者による傍聴録。

☞336『ぼくらがクラウドファンディングを使う理由』山本純子/ほか編著

★プロジェクト実現のためにネットで資金を募るクラウドファンディング。さまざまな分野での成功例を紹介。

367『LGBT なんでも聞いてみよう』QWRC/著

★性の多様性について中高生から寄せられた質問に答える。

☞367『もっと知りたい!話したい!セクシュアルマイノリティ 1〜3』日高庸晴/著

★セクシュアルマイノリティについて紹介した本。基本知識から当事者や周りの人の声、望ましい社会のありかたまで。

【災害・福祉】

369『地震イツモマニュアル』地震イツモプロジェクト/編

★『地震イツモノート』(←浜高図書館にあります!!)の実践版。いつおきるかわからない地震に「イツモ」そなえておこう。

369『「ユマニチュード」という革命』イヴ・ジネスト/ほか著

★ユマニチュードとは「認知症の高齢者が穏やかな人生を取り戻すケア技法」のこと。その考え方と実践について解説。

【教育】

379『自分はバカかもしれないと思ったときに読む本』竹内薫/著

★頭をやわらかくして“バカをこじらせない”ための本。

【風習】

383『世界の居住文化百科』ジョン・メイ/著

★世界の民族の伝統的なすまいの知識&技術を、イラスト+写真+地図で紹介。住まい、そして民族を知るきっかけに。



【数学】

月410『アートのための数学』牟田淳/著

★音、光、そして色。美しいアートに隠された数学的要素について解説。

410『ぼくらは「数学」のおかげで生きている』柳谷晃/著

★私たちの生活に、数学がいかに浸透し役立っているかを紹介。(以下、物理・化学・生物学のシリーズあります↓)

☞410『「数学」の公式・定理・決まりごとがまとめてわかる事典』涌井良幸/著

★中高で習う数学の公式や定理、考え方について、図解でわかりやすく説明した本。

【物理・化学】

420『ぼくらは「物理」のおかげで生きている』横川淳/著

☞420『「物理・化学」の法則・原理・公式がまとめてわかる事典』涌井貞美/著

★物理・化学の法則・原理・公式を、身近なテーマで学ぶ。図解でわかりやすく説明。

430『ぼくらは「化学」のおかげで生きている』齋藤勝裕/著

【古生物】

☞457『ハルキゲニたんの古生物学入門 古生代編/中生代編』川崎悟司/文

★カンブリア紀の海中生物、ハルキゲニアから生まれたキャラ「ハルキゲニたん」が古生物学の世界をナビゲート。

新着図書案内

・数字は本の背ラベルにある分類番号です

・月はリクエストされた本です

・☞は寄贈していただいた本です

【古生物・生物・植物】

460『ぼくらは「生物学」のおかげで生きている』金子康子/ほか著

☞460『世界の絶滅危惧生物図鑑 IUCN レッドリスト』IUCN/編

★IUCN（国際自然保護連合）の絶滅危惧種レッドリストに掲載された生物の図鑑。

☞470『万葉歌とめぐる野歩き植物ガイド 春～初夏/夏～初秋/秋～冬』

★万葉集に出てくる植物を、散歩しながら見つける本。

【動物】

☞481『食べて始まる食卓のホネ探検』盛口満/文・絵

★私たちが普段食べている動物には、もちろん骨がある。その形、知っていますか。

☞489『世界のクジラ・イルカ百科図鑑』アナリサ・ベルタ/編

【技術・工学】

504『明日、機械がヒトになる』海猫沢めろん/著

★ロボットは人間化し、人間は機械化していく…遠くない未来の話かもしれません。

☞529『図解ですべてわかる世界の装飾デザイン見本帳』康海飛/編著

★室内装飾や家具のデザインなどを図解。装飾デザインに興味がある人は必見。

【産業】

601『地域ブランディング実例集』

★地域文化に根ざした地域ブランディング(＝地域資源のブランド化)の実例集。

【ペット】

☞645『ぶるわん』『ぶるにゃん』カリリ・ダビッドソン/著

★全身を「ぶるぶるっ」とさせているイヌとネコの写真集。撮影のコツや里親制度の考え方も掲載。

【芸術】

☞713『聞耳の森』土屋仁応/著

★木彫作家、土屋さんの作品集。ただ静かに眺めてほしいです。

☞721「アートビギナーズ・コレクション」シリーズ

★美の巨匠の生涯をたどりながら作品の魅力に迫るシリーズ。今回は雪舟や歌川広重など、日本の美術家をチョイス。

727『マップマニア デザイナーのための地図のデザイン』

★見やすさと美しさを兼ね備えた芸術的な地図をたっぷりのご堪能あれ♪

739『ウルトラかんたん篆刻』真鍋井蛙/編著

★鉛筆とロウを使った「ロウソク転写法」で、オリジナル印を作ってみましょう。

☞756『すぐわかる日本の甲冑・武具』★弥生時代〜幕末の戦いの装備の変遷を解説。

月757『デザインのための数学』牟田淳/著

★美しいデザインの陰に数学あり。さまざまなデザインに含まれる数学的要素を紹介。

☞760『音楽は心と脳を育てていた ヤマハ音楽教室の謎に迫る』吉井妙子/著

★ヤマハ音楽教室で、心だけでなく脳も育った卒業生たちの物語。浜高OBの医師、林先生のエピソードも掲載されています。

【スポーツ】

☞783.2『考えて強くなるバレーボールのトレーニング』吉田清司/著

★高校生でもできるスカウティング(自分チーム&相手チームの情報を収集・分析すること)の理論&練習方法を解説。

【マンガ】

月726『マンガ日本の古典 落窪物語』月726『源氏物語・伊勢物語』

月726『まんがで読破 平家物語』『"枕草子』『" 源氏物語』『" 徒然草』

★古典文学作品ってとっつきにくい…と思っているアナタ！まずはマンガからどうぞ。

【言語】

804『Lost in translation』Ella Frances Sanders/著

★『翻訳できない世界のことば』(←浜高図書館にあります!!)の原著。日本語版とあわせてどうぞ。

☞811『ウソ読みで引ける難読語辞典』篠崎晃一/監修

★「山茶花」って何て読むんだろう。まあいいや、とりあえず「やまちゃか」で調べてみるかー。…そんなことができる本。

811『NHK 日本語発音アクセント新辞典』NHK放送文化研究所/編

★日本語の正しいアクセントって、意外に分からないものなのです。きちんと知りたいときには、とにかくこの1冊を。

【文学】

910『絵で読む日本の古典 4 平家物語』田近洵一/監修

★2年生の古典で学ぶ平家物語。全体の流れをつかむにはこの1冊がオススメ。

【小説】

913『暗黒女子』秋吉理香子/著

★名門女子高を舞台にしたイヤミス(嫌な読後感のミステリー)小説。来春映画化予定です。

月913『花とアリス殺人事件』乙一/著
★転校早々嫌がらせを受けるアリスは、ある日不登校のクラスメイト・花と出会う。

☞913『いつか終わる曲』加藤千恵/著

★3〜4分で終わってしまう流行歌。名曲に込められた切ない思いがにじむ小説集。

913『ジニのパズル』崔実/著

★朝鮮学校に通うも、一人だけ朝鮮語が話せないジニ。祖国と日本との間で翻弄される少女の物語。

913『危険なビーナス』東野圭吾/著

★夫の失踪原因を探るため、夫の家族に近づく楓。夫の兄・伯朗は、だんだん楓に惹かれていく。

913『もうっかい彼女』松久淳/著

★老作家が大好きだった彼女に会うため、過去へとタイムスリップ。ただの空想話かと思っていたら…。

913『柳屋商店開店中』柳広司/著

★「ジョーカー・ゲーム」シリーズの作品など、単行本未収録作を集めた1冊。

☞913『怒り 上・下』吉田修一/著

★殺人現場の壁に残されていた「怒」の文字。突如現れた3人の男の中に、真犯人はいるのか。

